



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選/決勝レポート

2019/5/19 Rd-2 AUTOPOLIS

天候：雨/くもり 気温：20℃ 出走台数：20台

観客数：18日(土)2,450人 19日(日)3,700人 合計6,150人

予選

大雨と強風によりキャンセルされ、決勝日の朝に順延となった第2戦オートポリス予選は、40分の計時方式で開催された。

しかし、天候は昨日と同じか、それよりも悪いコンディション。赤旗中断のリスクも高く、DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台も予選開始早々にコースインし、慎重にタイヤを温めてアタックラップに。しかし、ウォームアップラップ中の山本選手が、雨に足をすくわれてコースオフ。ダメージを受けてマシンを止め、赤旗中断となった。

マシン撤去の後、予選は再開されたが、その後もコースオフ車両が続き3度の赤旗掲示。そのような困難な中でもうまくタイミングを見つけてアタックを行った福住選手は3番手タイムを記録し、午後の決勝に向けて好ポジションを得た。山本選手は17番グリッドからの厳しいスタートとなる。

決勝

週末を通して荒天に見舞われたオートポリスだが、決勝前に雨が上がりドライコンディションでスタートを迎えた。

3番手スタートの福住選手は、しっかりとポジションを守る好スタートでオープニングラップを周回。一方17番手スタートの山本選手は1周目でピットインしソフトタイヤへと交換。残り53周を燃費とタイヤマネジメントで走り切る戦略で首位への振り返りを狙う。

その翌周、スピンしコース上に止まったマシン撤去のためセーフティカーが導入されると、このタイミングで福住選手を含むほとんどの選手がタイヤ交換を行った。8周目にレースは再開され、その時点でピットインを済ませていないドライバーを除くと、山本選手は実質の3番手、福住選手は5番手の走行。ステイアウトグループとのタイム差を削るべく、アグレッシブなドライビングで、オーバーテイクを繰り返した。

首位を走る関口選手が41周目にピットイン。2位までポジションを上げ、首位を狙う山本選手だったが、40秒以上のマージンを持つ関口選手の前に出られず、2位でゴール。17番グリッドからの大幅ジャンプアップでランキング首位となる。

福住選手も随所で追い上げを見せ、5位でフィニッシュ。貴重なポイントを獲得。

これでDOCOMO TEAM DANDELION RACINGはチームランキングでも首位となった。



1 : 山本尚貴 選手 2 位 (HONDA 勢 1 位)

荒天のために予選と決勝を同日に行うワンデーレースとなりました。

その予選で車を壊してしまい、決勝までの時間が限られた中で、完璧に修復をし、スターティンググリッドに車を並べてくれたチームの素晴らしい作業に感謝しています。

17 番グリッドからのスタートでしたから、普通では取りにくい戦略で決勝に臨みました。戦略も含め、しっかりと戦える車を準備してくれて、大きくジャンプアップ出来ました。

2 戦続けての **2 位**獲得で、ドライバーランキングも首位となり、シーズン通して考えても非常にいい状況です。まだ優勝がありませんから、引き続き気を引き締めてチャンピオンに向け頑張っていきます。

5 : 福住仁嶺 選手 5 位 (HONDA 勢 3 位)

僕はこのサーキットを走るのが初めてだったので、まずはコースを覚えるのが一番重要だと思っていました。しかし荒天もあって走行の機会は少なく、手探り状態での予選となりました。かなり悪いコンディションでしたから、赤旗中断が予想されたので、いいタイミングで **3 番**手のタイムを記録できたのは良かったです。

決勝では荒れた展開の中でもペースは良く、抜きどころの少ないオートポリスでオーバーテイクもできたものの、終盤の **4 位**争いでは先行車を捉えることができなかったことが悔しいです。

ポイントを持ち帰ることができ、チームランキングに貢献できたことはうれしく思います。次戦菅生に向けて、メンタルもしっかり作って臨みます。